



おっ! みんななかよし



じぶん たいせつ
自分を大切に

たいせつ
みんなを大切に



インターネットによる人権問題

じんけんもんだい

インターネットは情報の収集や発信、コミュニケーションの手段として、わたしたちの生活をたいへん便利なものになっています。

しかし、インターネットの利用が進む一方で、他人の人権を侵害してしまう事件も多く発生しています。軽い気持ちで書きこんだことで他人の人権を傷つけないように、インターネットを使う上で起こりうる人権侵害について理解を深め、ルールやモラルを守って利用することが大事です。

もしも、インターネット上で人権侵害の被害を受けたときは、ひとりで悩まず、先生や親などの身近な大人に相談するようにしましょう。

◆ SNS被害から自分を守る3つの約束 ◆

～ストップ・ザ・子供のSNS被害～

- 1 SNSで知り合った人と直接会わない!
- 2 住所や名前など個人情報を載せない!
- 3 自分や友達の写真を送らない!



◆ 少年相談コーナーのご案内 ◆

～未成年の非行や犯罪被害に関する相談窓口～

相談時間：平日 8:30～17:15 (夜間・土日祝日は警察本部当直対応)
少年サポートセンター水戸 ☎ 029-231-0900
少年サポートセンターつくば ☎ 029-847-0919
Eメール：keishonen@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県警察「インターネットの危険性」より

その書き込み 大丈夫??

コロナインターネット

コロナ禍において問題視されているコロナ差別は、残念ながらインターネットでも行われています。新型コロナウイルス感染症に関する不安な気持ちから、不確かな情報に飛びついて、それを拡散したり、他人を傷つける言葉をSNS等に書き込んだりすることがあります。みなさんは、どう考えますか？

「まだ分からないよね？」



(結論を)
ク断しない

「事実かな、印象かな？」



(印象を)
ウのみしない

「他の見方もないかな？」



(1つの見方に)
カタよらない

「何がかくれているかな？」



(スポットライトの)
カだけ見ない

想像力

スイッチを入れよう

4
何がかくれているかな？

(イラスト出典/下村著「窓をひろげて考えよう」かもがわ出版)